

# シュンデンタルタイムズ



# 1

2020

今月の特集

子供達の歯を救え! 「DMFT指数」からみる現状と未来(後編)

12月号でお伝えした「DMFT指数」※むし歯を経験している歯についての後編となります。  
前号では、メンテナンスを「受けている人」、「受けていない人」の違いをお伝えしました。



今号では、世界との比較や、当院の取り組みについてお話しします。

## 結論

メンテナンスが歯の病気抑制に有効だ! と考えるのは明らかです!



## 考察

一昔前(1990年代)の日本の12歳児は海外の虫歯予防が進んでいる国に比べて2倍悪い状態でした。

最近の日本の12歳児はというと、歯科先進国との格差もほとんどありません。

しかし12歳以降をみれば14歳で約2倍の虫歯を引き起こしています…。

(たった約2年間で1.7本から3.3本にまで虫歯が増えている)この現状…。



14歳で歯科先進国から

アフリカや東南アジアと同レベルまで陥落しているのです!!

中学生以降のむし歯抑制が重要ですが、当院に目を向けると

中学生になると塾や部活で忙しくなり、定期検診受診率が極端に低くなります。

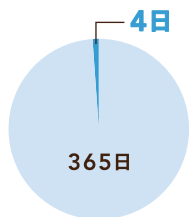
「歯医者のために部活や塾を少しの時間、  
間引きすることでどれだけの弊害が起こるでしょうか？」

1年365日のうち、たった**4日**(3ヶ月毎の来院で30分~1時間のメンテナンス)  
歯医者に時間をください!!

世界から見ると12歳までのむし歯予防は達成に近いですが  
12~18歳でまたまた世界から遅れを取ってしまうという  
悔しい結果になっています。

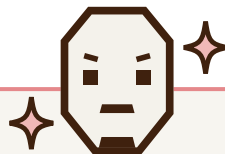
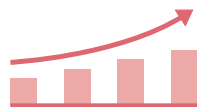
サッカーで例えると・・・

“アンダー18は世界トップレベル”だけど、  
その世代の教育が悪く“A代表で予選通過もできない”  
みたいな感じかと思います。



### この結果より

子供達の歯を「なんとかせねばならん」と考え、  
子供達の未来のために、シュンデンタルは  
**幼年期からの継続したメンテナンス受診を推奨**  
しております。



## シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>